



播種した雑穀の穂が徐々に出てきました。段々と収穫の秋に近づいていますね。来年（2023年）は東京学芸大学創設150年の節目に当たり、国連において国際雑穀年（International Year of Millets）とすることも宣言されています。この機会に、藤野の宮本さんの畑でキビとホップを栽培し「雑穀発泡酒クラフト」を醸造するための準備を進めています。（※東京学芸大学創立60周年記念（2009年）の時には、東京学芸大学雑穀発泡酒「Sobiboピーボ」を醸造しました。）今後、販売（協力金）などの準備が整いましたらHP等でご案内しますので、ご賛同いただける方はご寄付を頂ければ幸いです。

植物と人々の博物館が中組地区へ移転してから約5年が経過し、収蔵・展示資料の今後の扱いについての議論を進めて来ました。この間にも書籍の寄贈などがあり、電子書籍などのコンテンツの充実も図っています。「雑穀街道」の中にこれまでの調査・研究の蓄積を保管することの意義と同時に、当博物館の特長の一つでもあった収蔵品の“活用される場”の創出をどのように進められるのか、資料等の一部移管も含めて様々な可能性を探っています。Google Map上での「植物と人々の博物館」（移転後）の閲覧数も50,000回を超えました。もし、何か今後に向けたアイデアなどございましたら是非お寄せ下さい。

「環境学習市民連合大学」の中での連携協力講座もオンラインだけでなく対面形式も取り入れて、広がりを見せています。環境学習会、自給農耕ゼミ（小金井、佐野川）の今後のスケジュールもHP上

（<http://www.ppmusee.org/index.html>）に公開していますので、ぜひご参加ください。話題提供者や企画案などがありましたらご相談ください。

<ご案内> 『第7回自給農耕ゼミ（小金井）』開催のお知らせ（一次案内）

市民農園や都市農業をもっと広げたい、小金井でエディブル・ウェイ（食べられる道）を作ってみよう、エコミュージアムなまちづくり、雑穀や野菜の在来品種についてもっと知りたい、どのように幸せな暮らしを築くのかなどなど、家族農耕 farming をゆったりと語りあう会です。これからも学習会や栽培実践、読書会などを通し、共に学び合う場を共有しましょう。お気軽にご参加ください。

○ 第7回自給農耕ゼミ（小金井）

○ 日時：9月25日（日）14:00～16:00

○ 場所：小金井市中町カエルハウスおよびカライツ（zoom）（定員：会場15名、カライツ20名）

○ プログラム：今回は、心の基盤を創る自然体験、生活体験について話し合いたいと思います。

話題：冒険遊び、野良遊び、プレーパーク

話者：邦永洋子さん（NPO 法人こがねい子ども遊パーク）

要旨：武蔵野公園のプレーパーク、南学童農園、小金井環境市民会議環境学習部会のたんぼの時間、東京学芸大学のちえのわ農学校、プレーパーク、自然文化誌研究会の冒険学校などをつなげ、人々と経験を交流します。

○ 協催：カエルハウス運営委員会、NPO 自然文化誌研究会／植物と人々の博物館／雑穀街道普及会

○ 申込み連絡先：042-316-1511（カエルハウス運営委員会）または

office@katayamakaoru.net 資料代 300円

*このゼミの動画、話題資料などは、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、互いに体験と知識など学び合う環境学習市民連合大学の下記サイトで一般公開します。

<http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

*内容についてのご質問は kibi20kijin@yahoo.co.jp 木俣美樹男（企画室事務担当）

○ 参加申込みをしてくださった方には詳細な案内をお伝えします。